

平成 25 年(2013)6 月 7 日～6 月 21 日

平成 25 年

# 雲南市議会 6 月定例会 一般質問通告一覧表

平成 25 年雲南市議会 6 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	19 / 堀江治之	一問一答	1, 2	10	13 / 安井 誉	一括	14
2	7 / 細木照子	一括	2, 3	11	10 / 高橋 雅彦	一問一答	15～17
3	3 / 原 祐二	一問一答	4, 5	12	17 / 堀江 眞	一問一答	17, 18
4	2 / 中村辰眞	一括	5～7	13	6 / 多賀 三雄	一問一答	18, 19
5	1 / 松林孝之	一問一答	7, 8	14	14 / 福島 光浩	一問一答	19, 20
6	20 / 小林眞二	一問一答	8	15	8 / 佐藤 隆司	一問一答	20～22
7	5 / 白築俊幸	一問一答	9	16	12 / 土江 良治	一括	22, 23
8	4 / 矢壁正弘	一括	9～12	17	9 / 周藤 正志	一問一答	24, 25
9	15 / 細田 実	一問一答	12, 13				

平成25年雲南市議会6月定例会一般質問通告一覧表

平成25年6月11日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	19	堀江治之 (一問一答)	1. プレミアム商品券発行について  2. 三刀屋川の治水について  3. 水道事業について	(1)平成24年度の取り組みの成果と改善点について ①市民の皆さんに市内で買い物をして頂くために、雲南市が商工会に補助金を出し、初めての取り組みでプレミアム商品券の発行がされたが、どのような成果があったのか伺う。 ②改善を要する事項は無かったのか伺う。 ③本年度も取り組みを実施するために当初予算に計上されたが、改善点を踏まえ今年度の取り組み方針について伺う。  (1) 三刀屋川治水における現状と整備計画について ①三刀屋川の計画洪水量はどの様になっているのか伺う。 ②現在の三刀屋川の通水能力はどの様になっているのか伺う。 ③堤防の基盤漏水の可能性について伺う。 ④島根県管理の河川であるが、現在の整備計画はどのようになっているのか又県への要望活動状況について伺う。  (1)水道事業計画と資本費について ①水道事業運営の現状について伺う。 ②最近の事業計画と資本費の動向について伺う。  (2)水道使用料金改定について ①計画されている料金改定内容と実施時期について伺う。 ②予定されている消費税改定に向けた取り組みの考えを伺う。 ③平成28年度末までに簡易水道の上水道一元化が示されているが、水道使用料金改定と財政上の対策についての考えを伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 斐伊川河川環境整備について	(1)斐伊川の治水と河川敷公園整備構想について ①平成 22 年に地元並びに各種団体より斐伊川の治水並びに河川敷公園整備の要望が出され、島根県と出雲河川事務所への要望活動が取り組まれたが、その後の動向について伺う。	
2	7	細 木 照 子 ( 一 括 )	1. 24時間介護サービスの導入について  2. 予防接種について	(1)在宅介護拡充の切り札として政府が普及を目指す「24 時間地域巡回型サービス」の普及が、特に中山間地域で進んでいない。 都市部と中山間地域では、地域事情によって採算性に問題が出る。この事情を国に理解してもらい、雲南市でも導入に向けて努力する考えはないか伺う。  (1)風疹ワクチンの接種について 妊娠中の女性が風疹に感染すると、胎児に障がいが発生する可能性がある。しかも、患者のくしゃみや咳を通じて感染する。5 月中旬現在で感染者は去年の 3 倍にのぼる。 風疹は症状が軽くて気付かないことが多く、知らないうちに感染を広げる恐れがある。全国的な社会問題であり、全国一律に国がワクチン接種助成をするべきであり、緊急要請する考えはないか伺う。  (2) 子宮頸がんワクチンの健康被害について 4 月に定期接種化したばかりで、小学 6 年生から高校 1 年生相当の女子が対象になっている。この対象者もこれから人生を歩む日本の宝である。 厚生労働省は、詳しい調査を開始すると決めたが、雲南市でも事前予測が出来るような調査項目はあらかじめ準備をして、対応が遅れないよう万全を期してほしいと思うが、考えを伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. マダニ感染症について	(1)マダニが媒介するウイルス性感染症の女性に付いていたマダニから、5月下旬にウイルスが確認された。 自然豊かな雲南市には、イノシシなどの動物が徘徊し、マダニの生息環境は満たされている。これからマダニの活動期に入るので、注意事項等を徹底させて欲しいが、考えを伺う。	
			4. 高齢者の交通事故防止について	(1)今年の「島根県交通安全県民運動」の最重点項目に「高齢者の交通事故防止」がある。 この中の推進事項に「夜光反射材の活用促進」がある。今、高齢者に一番必要な事項だと思う。これを機会に雲南市として、はっきりと見えやすい夜光反射材を高齢者に用意される考えはないか伺う。	
			5. 小学校の英語教育について	(1)政府の教育再生実行会議は、小学5～6年生の英語を正式教科化し、さらに英語開始学年の引き下げを首相に提言した。今後、中教審で学習指導要領改定が議論される。 現在の若者の間では、日本語の基本が揺らいでいるという指摘もある。ここへ英語教育が小学4年生あたりから始まると、従来の教科が圧迫されないか心配する。まだ、提言段階の話ではあるが、現段階の考えを伺う。	
			6. 中山間地域における農地集積について	(1)安部首相の成長戦略第2弾には、農業所得の倍増が盛り込まれている。マスコミも、農業所得倍増へ「農地集積」を促している。 雲南市のように中山間地域で、狭い傾斜地の多い農地は、ひと窪ひと窪が強い個性を持っている。単純に農地集積などになじむものではなく、零細農業だから何とか農地維持ができていていると思う。現段階における農地集積に対する考えを伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
3	3	原 祐 二 (一問一答)	1. 中学校教育について  2. 雇用の拡大について	<p>(1) 中学校教育における人づくりについて</p> <p>① 中学校教育での目指す人づくりは何か。また、第2次雲南市教育基本計画において「生きる力」を育むための主要教育策は何かを伺う。</p> <p>② 中学校での人材育成方法と数値評価の内容と方法について伺う。</p> <p>③ 進路指導と高校への推薦入学(学力)のあり方をどのように考えているのか伺う。</p> <p>④ 中学校入学時に推薦入学(学力)の目標数値の設定と公表をし、目標を持った生徒を育てるべきではないかを伺う。</p> <p>⑤ 中学校適正規模・適正配置基本計画の望ましい学校規模とされる、1学級20人～30人を下回る学校の現状と弊害は何かを伺う。</p> <p>(2) 部活動の果たす役割について</p> <p>① 中学校教育で部活動の果たす役割は何かを伺う。</p> <p>② 雲南市合併後、廃部となった活動の有無を伺う。</p> <p>③ 今後、単独校での部活動が困難となる学校と活動内容を伺う。</p> <p>④ 市教育委員会としての対応方法を伺う。</p> <p>(1) 市内の雇用の現状について</p> <p>① 雲南市合併後、産業別の事業者数及び従事者について、減少率が大い分野は何かを伺う。</p> <p>② 建設業における事業者数及び従事者について、具体的な数値変化を伺う。</p> <p>③ 災害対策、除雪、公共工事の観点から市内での最低限必要な事業者数及び従事者数についての所見を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(2)雇用拡大策について</p> <p>①建設業振興のため、市単独工事発注時の経費率改善と災害工事を除く現場代理人の常駐義務緩和について伺う。</p> <p>②国道54号（掛合～三刀屋）の通行量減少による商業者の雇用減少が懸念されるが対応策を伺う。</p> <p>③市内事業者の雇用拡大のため、県外からの観光客に市商工会加盟店での消費の拡大を目的としたポイント制度による商品券発行等を提案するが所見を伺う。</p> <p>④道の駅たたらば壺番地にオープン空間施設（飲食販売・商品販売）を設け、市商工会加盟店の雇用振興策を提案するが所見を伺う。</p> <p>⑤市内事業者の雇用拡大のため、市内事業者への委託契約率を目標設定できないか。また、市発注業務委託を契約できるよう、契約要綱等を改善できないかを伺う。</p>	
4	2	中 村 辰 眞 ( 一 括 )	<p>1. 障がい者優先調達推進法施行について</p> <p>2. 中国横断自動車道尾道松江線開通に伴う高速バス広島便の経路変更について</p>	<p>(1)障がい者優先調達推進法施行に伴い、雲南市でも特定信書便を委託したが、現在この他に委託している業務があるか。</p> <p>(2)市内障がい者作業所施設等で支払われる、一人当たりの平均賃金はいくらか。</p> <p>(3)市内にある障がい者の作業所施設数は。</p> <p>(4)障がい者優先調達推進法に基づく、市から発注の可能性のある業務はあるか。</p> <p>(5)市からの発注に対応できる作業所施設はあるか。</p> <p>(1)これまで国道54号を経由して運行されていた、高速バス広島便が4月から尾道松江線に経路が変更されたことにより、掛合町の高齢者からバス利用に関しての不安の声が多くあった。廃止決定後、新ダイヤ運行までの間に住民説明会など行われたのか。また、行われていなければ、なぜ行われなかったのか伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 学校環境衛生基準について	<p>(2)住民に対する説明会が行われていれば、出された意見・要望内容は何かを伺う。</p> <p>(3)現行、掛合町から松江あるいは出雲に行くのにバスを利用すると、乗り換えが生じる。何通りの組み合わせがあるか認識しているか。</p> <p>(4)路線廃止後、目的地までの経路を市から全戸に配布されたバスの時刻表を見てもわかりにくい。慣れてもらうしかないとの見解を持つ市の職員がいるが、病院への通院等で月1回程度利用する高齢者がこの時刻表を見てスムーズな乗り換えは可能かどうかの見解を伺う。</p> <p>(5)朝と夕方、松江・出雲への行き帰りの時間帯に高齢者にも分かりやすい、市民バスのダイヤ編成は出来ないか。</p> <p>(6)ダイヤ編成が厳しいのなら、市が発行する時刻表を、一目で分かるような明解な掲載ができないか見解を伺う。</p> <p>(1)学校保健安全法第6条に基づき施行されている学校環境衛生基準には、大きく6項目の環境衛生基準が定められている。現在ダニによるウイルス感染で、死者が出ている。 この基準の中にもダニに関する検査もある。合わせて、水道水とプールの大腸菌なども心配な季節になる。市内全ての小中学校の検査状況及び結果を伺う。</p> <p>(2)夏休みに向けて子供たちにダニに対する注意喚起をするべきと考えるが所見を伺う。</p>	
			4. 健康の森について	<p>(1)健康の森の施設・遊具の時系列に照らした整備状況を伺う。</p> <p>(2)健康の森のホームページには現在、使用不可能な遊具や、立ち入り禁止となっている箇所が、昔のイメージのまま掲載されている。現状を正確に反映させるべきではないか見解を伺う。</p> <p>(3)中国横断自動車道尾道松江線沿線の庄原市には、国営備北丘陵公園や</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			5. 市職員の住民対応について	<p>大鬼谷オートキャンプ場などの自然を満喫できる野外スペースがあり、多くの家族連れなどがキャンプなど野外活動を楽しむ人の受け皿がある。雲南市にもこのような受け皿となるスペースが必要と考えるが、健康の森を整備して人を呼び込む考えは無いか所見を伺う。</p> <p>(4)遊具に関して、遠足で訪れた子供たちが、がっかりしている。更新の予定は無いか。</p> <p>(1)本庁・総合センター共に、来庁者に対して、誰も対応しようとし無い、声をかけても反応がない、挨拶しても返さないなど、通常民間企業では考えられない接客態度が見受けられるとの声をよく聞く。民間では接客態度ひとつが大きく会社全体の信用にかかわり、業績悪化の原因にもなりかねない。市としての見解を伺う。</p> <p>(2)接客マナー向上のため、民間での研修を考えてはどうか。</p>	
			6. 期日前投票宣誓書について	<p>(1)7月には参議院選挙が予定されている。3月定例会一般質問時に期日前投票宣誓書についての質問に対し、ホームページからダウンロードできるように準備を進めるとの答弁があったが、現状を伺う。</p>	
5	1	松 林 孝 之 (一問一答)	1. 産業振興について	<p>(1)中小企業振興基本条例制定の考え方について</p> <p>①昨年12月定例会において、市長の所信表明の中に平成25年度中に「雲南市中小企業振興基本条例」を制定するとあったが、進捗状況は。</p> <p>②「地域経済の活性化に結びつけていくことを目的に、今後十分な協議、検討を重ね、施策の方向性と骨子を定める」とあったが、具体的に協議・検討は何処でどのようにされたのか。</p> <p>③雲南市の現状を踏まえ、中小企業振興施策を実践していくための条例であるべきと思うが、どのような方向性で検討されているのか。</p> <p>④基本条例制定後の具体的施策の実施計画策定の考えはあるか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 都市計画について	<p>(1)中心市街地活性化法に基づく市街地指定について</p> <p>①国の「中心市街地活性化法」は、今後の人口減少・超高齢化する現実の中、まちづくりをどう進めるのかを定めるものである。</p> <p>県内では松江市だけが平成 20 年に認定を受けている。雲南市は認定申請の考えはないのか。</p> <p>②国土交通省によると、これからのまちづくりの方向性として「拡散型都市構造」から「集約型都市構造」への転換を奨励するとある。</p> <p>今後の「雲南市都市計画マスタープラン」との整合性も含め、雲南市の「中心市街地」は何処の区域と定めるのか。</p> <p>③「中心」があれば、必ず「周辺」がある。市全域において「農業・商業・工業・住宅地等の環境整備」は、どの方向性を持って進めていくのか。</p>	
6	20	小林 眞 二 (一問一答)	<p>1. まちづくり自治会活動について</p> <p>2. 中国横断自動車道尾道松江線について</p>	<p>(1)市内の市営住宅、近年できた住宅団地での自治会活動は、どのように把握し、まちづくりに参加してもらっているのか。</p> <p>(2)それぞれの自治会で拠点となる集会所の設置状況は。</p> <p>(3)集会所を持たない自治会は、どのような対応、対策を講じるのか。</p> <p>(1)開通して2カ月余りが過ぎたが、計画時に想定していた経済効果と比較してどのように捉えているか。</p> <p>(2)道の駅「たたらば壺番地」では、駐車場内の混雑、あるいはトイレ不足について整備の課題も見受けられるが、対策を伺う。</p> <p>(3)新聞報道によると、給油の判断を誤りガス欠を起こしたケースが発生したとの事であるが、高速道出入口の看板告知だけで解消できるのか。その後も、ガス欠やスタンド設置の要望、苦情はないのか。</p> <p>(4)道の駅、緑地広場をガソリンスタンド用に貸し出し、民間活力で解決できないか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
7	5	白 築 俊 幸 (一問一答)	1. 中山間地域対策 について	<p>(1)市民バスの料金設定について</p> <p>交通弱者にとって、市民バスは重要なツールである。しかし料金設定において200円区間から600円区間までであるが、三刀屋町以北の4町に比べ、吉田町、掛合町に、大きな負担を強いる料金設定となっている。</p> <p>①公平性を欠くこの料金表について、どう思うか。</p> <p>②何故、こうした料金設定になっているのか伺う。</p> <p>③今後、見直していく考えがあるのか伺う。</p> <p>(2)雲南市の収納代理金融機関としての郵便局の取り扱いについて</p> <p>郵便局は、口座振替には対応出来るものの、窓口での納付書払いには対応出来ない。郵便局以外の金融機関は、町部に偏在しており、中山間地域からは、近くに在る郵便局を利用できるよう望む声が数多くある。</p> <p>①郵便局では、何故、市発行の納付書払いができないのか伺う。</p> <p>②田舎に住む者の利便性向上のため、今後、郵便局と改めて交渉する考えはないのか伺う。</p>	
8	4	矢 壁 正 弘 (一括)	1. 廃園・廃校後の跡 施設の積極的な利 用促進について	<p>(1)これまでの答弁で地元が要望した計画と同じような施設とのバランスを 考え、市がどこまで支援できるか、今後十分に検討していきたいとのこと であったが、その後どのような検討がなされたか伺う。</p> <p>①昨年度示された「廃校跡地に関する基本方針」では、交流センターにし ない廃校施設は、他の用途に活用すべきか検討するとされているが、誰が 検討するのか。地域が検討すべきかどうか伺う。</p> <p>②地域で検討すべきならば、市は積極的に情報提供や地域に寄り添って一 緒に検討すべきと考えるが、どうか。また、その所管はどこになるか。検 討した結果によっては、市の関係機関と協議しなければならないが、窓口 となる所管はどこか。</p> <p>③検討に当たっては、財政支援も必要となってくる。地域自主組織へは、 ソフト事業の交付金が出されている。施設改修等のハード整備が必要と</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 雲南市立病院の基本設計にあたってのヘリポート建設について</p>	<p>なるが、検討されているか。跡地利用を地域で検討する場合、ハード整備に対する制度を示す必要があるのではないか。</p> <p>(2)廃園・廃校後、地区全体で跡施設の利用方法を考え、計画を立て陳情・要望書を提出されているところが多数あると思う。廃校廃園後早く改修して利用していかなければ、痛みが激しくなるばかりであり、早急な手立てが必要であると思う。</p> <p>このような施設はこれから益々増えると考えられるが、市は、跡施設の利用の考えが3年間無ければ取壊しを基本として考えておられるようだ。もっと前向きな考えで、跡地利用に関する新たな制度をつくり、市民との協働、新たな公の創設に積極的に取り組んでいく考えは無いのか改めて伺う。</p> <p>(1)ドクターヘリの運行が、中国5県相互乗り入れ協力など、大きく変化し、新しくヘリポート建設に取り組む自治体が増えたとの声を聞くが、雲南市としての今後の取り組みを伺う。</p> <p>①災害拠点病院としての役割を十分に果たすため、患者搬送のためだけではなく、どのような災害にも対応できる、防災ヘリも離発着出来る、ヘリポートの設置は必要不可欠ではないかと思うが見解は。</p> <p>②建設時に屋上に設置すると事業費が1億円以上上乗せになると説明があった。建設後に必要に迫られ建設をすれば、その何倍と建設費が掛かる。建設後必要となった場合どのような対処の考えか伺う。</p> <p>③昨年度、雲南市はドクターヘリの利用実績が県内1位となっている。現在利用されている場外離発着場は芝生で、積雪等により使用できなくなる場合もある。また現在は、消防隊員の誘導が必要である。これらを解消するためにも、ヘリポート建設は必要ではないかと思うが見解は。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 頻発する火災への 緊急的な啓発活動 の考えについて	<p>(1)雲南市では、1月に木次、2月に大東で大火災が発生し、その他住宅火災・林野火災が頻発し、負傷者も5月26日現在で3人出ている。市として、このような非常事態に対しての対応を伺いたい。</p> <p>①雲南市の火災予防の取り組みについて、平成24年度まではどのような告知、啓発活動が行われてきたか伺う。</p> <p>②平成25年度、雲南1市2町では近年に増して火災の発生が多い。雲南市だけでも、約半年間で昨年度の同数の19件発生している。原因も、寄せ焼き、枯れ草焼き、ごみの焼却等不注意からの火災が増している。この非常事態に対し、市としてはどのような対策をとるのか、どのような啓発活動をなされるのか伺う。</p> <p>③火災発生時に、消防署からの通告放送が行われた後、市からのサイレン告知、告知放送が遅いとの声を聞くが、消防署との連絡体制はどのようになされているか伺う。</p>	
			4. 平成25年度の合 併浄化槽補助枠数 について	<p>(1)平成25年度の合併浄化槽の補助枠が、3月時点で一杯になったとのことだが、なぜここまで補助枠が減少したのか伺いたい。</p> <p>①平成24年度は60基の補助枠であったが、25年度は補助枠が何基あるのか。また、どうしてここまで減少したのか伺う。</p> <p>②平成25年度は今後補助枠を増やさないのか、補正で増やすのか、増やすなら何基増やすのか伺う。消費税が8%にアップする前であり平成25年度は要望が多いと考えられる。</p> <p>③合併浄化槽は自然環境整備の面からも普及率を高めて行きたい制度である。平成26年度の補助枠はどのように考えているのか。消費税10%の前に、リフォーム等に関連し、浄化槽設置の希望者も多くなると思うが見解は。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			5. 新市庁舎の省エネルギー性について	<p>(1)新市庁舎の建設にあたって、福島原発事故以来、更にその重要性に関心が集まっている省エネルギー性について、新庁舎にもとめる性能を伺いたい。</p> <p>①平成 25 年 4 月 1 日より国の省エネルギー基準が変更された。届出はもちろんだが、省エネルギーの推進を啓発する観点から新市庁舎には高い省エネルギー性能が求められるべきだと思うが、新基準でいう「一次エネルギー消費量」の基準をどの程度に設定する考えか伺う。</p> <p>②省エネ新基準への変更に先立ち、「都市の低炭素化の促進に関する法律」が昨年 12 月施行されている。本法にある低炭素建築物の認定は、地方都市の新庁舎としても率先して取り組む価値のある認定制度であると思うが、その対応について現状と今後の方針を伺う。</p> <p>③新しい省エネ基準、また低炭素建築物の認定、ともに「一次エネルギー消費量」すなわち新庁舎でいう光熱費、ランニングコスト（太陽光発電等で補う前の正味の消費量）を抑えることを目標としたものであり、設計のみではなく、施工後の消費をマネジメントすることも重要であるとしている。BEMS（ビルエネルギーマネジメントシステム）の設置とそれにもなう省エネ啓発のあり方について考えを伺う。</p>	
9	15	細田 実 (一問一答)	1. 市長の政治姿勢、教育委員会の平和教育の推進について	<p>(1)安部総理は憲法第 9 6 条改正から始めようとするなど、憲法改正に意欲を見せている。また、自民党は昨年 4 月、天皇を元首とし国防軍を保持するとして憲法改正草案を発表した。憲法改正は憲法改正論者からも批判があり、自民党改憲草案は立憲主義を否定しているのではと考える。このことについてどう考えるか。</p> <p>平和憲法を国民生活に生かし、世界に広げて行く視点が必要ではないか。</p> <p>(2)大阪市の橋下市長の「従軍慰安婦は必要だった」との発言は世界中から大きな批判を浴びている。また、沖縄に駐留するアメリカ軍に風俗業の活用を進めるなど、政治家として、市長としての発言とは思えない。市長の</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 原発問題について	<p>所見を伺う。</p> <p>(1)島根原発1号機は廃炉に…との声が松江市議会の中でも起きているようである。1号機のあり方についてどのように考えるか。市民の安全のため、廃炉を中電に申し入れるべきではないか。</p> <p>(2)安倍政権は原発に頼る社会へ向かっているように思うが、市長は原発に頼らない社会を目指したいとの見解を表明されている。安倍政権の姿勢をどのように考えるか。</p> <p>(3)中国電力との安全協定の締結はその後どうなっているのか。協定締結に向けて市長、議会、市民が一丸となって取り組み、市民が安心して暮らせるように一層の取り組みが必要ではないか。</p>	
			3. 地域自主組織と交流センター職員について	<p>(1)交流センター職員の地域自主組織による労務関係の手続きが終わったとのことだが、今後の労働条件の向上など、どのように行われるのか。</p>	
			4. 技能労働者の賃金水準確保について	<p>(1)公共工事設計労務単価改定と技能労働者の適切な賃金水準の確保について、市の考えを伺う。</p>	
			5. 肝炎対策について	<p>(1)雲南省の肝炎対策はどのような状況か。</p> <p>我が国最大の感染症と言われるウイルス性肝炎。早期発見、早期治療が必要であるが、県と連携して検診、治療など啓発を図るべきではないか。雲南市民の受検件数と受検の推移は如何に。</p>	





質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>用促進の4本柱が掲げられているが、どのような取り組みをなされているのか、また今後どのような取り組みをなされるのか伺う。</p> <p>(2)再生可能エネルギーへの取り組みについて</p> <p>①太陽光発電の普及について</p> <p>ア) 市民、事業者への助成はあるが、集会所等への助成は考えられないか。</p> <p>イ) 公共施設への太陽光発電を積極的に導入するとあるが、地域活動の拠点となる集会所に市が積極的に設置し、自治会集会所の電気の確保を図り、余った売電料は市の財源とする普及活動はできないか。</p> <p>②小水力発電の普及促進について</p> <p>基本計画の中で小水力発電に取り組むとあるが、立地条件があるものの研究・啓発段階の表現にとどまっている。水力発電は24時間発電が可能であり、最もクリーンなエネルギーの一つである。減価償却を必要としない公共投資として財源確保が可能であり、建設に向けた取り組みができないか。</p> <p>③木質バイオマス利用の促進について</p> <p>ア) 産直事業が雲南市の特徴でもあるが、冬の農産物供給には課題がある。ハウス栽培が求められる中で木質を使用した加温設備の助成はできないか。</p> <p>イ) 先般の小規模多機能自治フォーラムで中島健造氏の講演「中山間地域再生キー、自伐」について耳を傾けるものがあった。公共施設に地域林材活用が市から提言されたが、一般住宅にも提唱が必要であり、残材活用により相乗効果が生まれると思うが見解は。</p> <p>④高知県梶原町において「環境モデル都市構想と自然エネルギーの活用」について視察を行った。それを踏まえ質問する。</p> <p>ア) 公共投資をした再生エネルギー施設からの収益を地域再生エネルギー活用の施設補助に活用されているが、そのような考えはないか。</p> <p>イ) 再生エネルギーによる雇用の拡大について聞いたが、現実には効果がなく、市民も含め全体としての費用削減に効果があったと聞く。市外にお金を出るのを防ぐという観点からの推進が必要ではないか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				ウ) 木質バイオマスはチップのみの供給で考えられているが、多様な形での供給が必要とのアドバイスがあった。今後の展開は。 エ) 売電価格は下がる状況であり、売電で事業をするなら2~3年以内でないと困難とあったが、このアドバイスに対する見解は。	
12	17	堀江 眞 (一問一答)	1. たたらば壺番地について  2. 鉄の歴史村について (吉田町内本町筋はじめ菅谷高殿など)	(1)スタートして2カ月が経過した。連日大変な盛況だが、感想を伺う。 (2)最大の課題は合併浄化槽の容量である。来年3月の全線開通を控え、便器の取り換えで対応できると考えるか。 (3)「たたらば壺番地」が圧倒的な集客可能施設であることが実証された。浄化槽の増設、駐車場の拡幅、市内への誘導対策など抜本的な対策が必要と思うが考えを伺う。 (4)国土交通省側の駐車場からトイレの入り口の段差解消に向けた対策は。いつ解消できるか。併せて階段部分へのスロープの設置の対策は。 (5)駐車場の照明が暗いとのこと意見を頂いた。改善できないか。特に入り口階段部分はどうか。 (6)冬場の対策が今から必要だ。施設周辺及び駐車場の除雪対策など大丈夫か。後手にならないように早めの対策が必要と考えるがどうか。  高速の開通、たたらば壺番地の盛況を見て (1)鉄の歴史村の現状をどう見ておられるか。 (2)町づくりはエンドレスだ。町並み保存と空家活用策(チャレンジショップの誘致等)、観光案内、観光パンフレット、施設案内地図の作成など官民の役割の明確化が必要だ。どこが担当しているのか又はするのか。横の連携が必要と考えるがどうか。 (3)店舗の減少や家屋の撤去が進んでいる。鉄の歴史村景観保全基金を活用する時ではないかと考えるが、考えを伺う。 (4)サイン施設がまだまだ不足している。計画的に統一した看板が必要と思うが考えを伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 菅谷高殿について	(1)高速開通で工事中もかなりのお客様が有ると聞く。現在工事はストップ中だが、いつから始まるのか。完成したところから見学可能にすることや時折説明会を開催することなど必要と考えるがどうか。 (2)国の予算も継続予算で執行されていると言われている。今後、継続して工事が出来るように関係機関に強く要請すべきではないか。 (3)村下屋敷は、重要文化財にすでに決定したのか。たとえば一面に喫茶店やショップなどを開店することが可能か。 (4)菅谷高殿の新駐車場にトイレの設置は不可欠と思うが、計画はあるのか。駐車場はいつから使用可能となるか。	
			4. 窪田蔵郎文庫について	(1)窪田蔵郎文庫は、鉄の歴史村の大きな財産である。活用状況を伺う。大学や高専などと連携して世に出す考えはないか伺う。	
13	6	多賀三雄 (一問一答)	1. 市長の政治姿勢について	安倍政権の政策に関わって (1)橋下市長と安倍首相の歴史認識について ①橋下大阪市長の「慰安婦」発言についてどう思うか。 ②それを否定しない安倍首相の姿勢をどう思うか。  (2)いわゆるアベノミクス—安倍政権の経済政策に対して ①雲南市民にとってどのような影響があるか。 ②大企業・資産家ではなく、庶民の所得増でデフレ不況脱却すべきと考えるがどうか。  (3)TPP交渉参加に対して ①雲南市民にとってどのような影響があるか。 ②市長として反対を貫くべきと考えるがどうか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 市民生活、子育て 支援について	<p>(1)生活保護法の改正に関わって</p> <p>①生活保護法の改正についてどう思うか。</p> <p>②改正されても、権利保障する運用をすべきと考えるがどうか。</p> <p>(2)国民健康保険料について</p> <p>①島根県は、他の都道府県に比べ、法定外繰り入れが異常に少ないが、どう考えるか。</p> <p>②国庫負担増額を国に求めるべきと考えるがどうか。</p> <p>③一般会計からの繰り入れをして引き下げをすべきと考えるがどうか。</p> <p>(3)水道料金について</p> <p>①値上げを先延ばしした理由は解消したのか。</p> <p>②そもそも簡易水道と上水道の違いは何か。</p> <p>③値上げすべきでないと考えるがどうか。</p> <p>(4)風疹予防接種への助成を</p> <p>①子育て環境整備のために助成をするとよいと考えるがどうか。</p>	
14	14	福 島 光 浩 (一問一答)	1. 食と農のまちづく りについて	<p>(1)食育計画について</p> <p>①今年度が計画最終年度となる食育推進計画について、これまでの取り組みの評価（評価内容・手法、PDCA サイクル）と課題を問う。</p> <p>②改めて市における食育計画の位置づけと、次期計画の策定に対する方針・重点ポイントを問う。</p> <p>③学校教育で行われている創意工夫に溢れる食育を誇りに思う。食育の視点から、さらに生きる力を引き出しまちづくりにつなげていくために、生徒がチームをつくり耕作放棄地を利用し、生産から加工、販売までを手がける、社会的な経済活動を実践してみてもどうか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(2)農業振興について</p> <p>①食育推進計画に、風土を大切にした農業の推進（地産地消や有機農業の推進・後継者の育成）との連携が記されていたが、どのような取り組みがされてきたのか、またその評価を問う。</p> <p>②島根県は日本一の有機農業県を掲げ、推進に力を入れている。健康長寿のまちづくり、食のブランド化のためにも、有機農業の推進体制の構築は重要かつ急務であると考え。市のこれまでの取り組みと今後の方針について問う。</p> <p>③有機農業の推進について、学校給食を柱とすることは有効な手法だと考える。食の充実、生産体制の確保・育成を図るため、納入食材への独自の助成制度を構築してはどうか。</p> <p>(3)農福連携について</p> <p>①島根県は障がい福祉と農業の連携促進に力を入れてきている。市内での実態とその可能性、また方針について問う。</p>	
15	8	佐藤隆司 (一問一答)	1.雲南市市政施行10周年記念事業について	<p>(1)雲南市の歌事業について</p> <p>①合併後、市の更なる一体感の醸成とふるさと意識の高揚等を目的に「雲南市の歌」を制定するとされているが、歌詞の応募資格を制限し公募されるのはなぜか。</p> <p>②作曲者を指名されるのはなぜか。</p> <p>(2)市民憲章制定について</p> <p>①平成20年11月1日より施行された雲南市まちづくり基本条例に基づいた、市民憲章の制定の考えはあるのか。</p> <p>(3)キャラクターの認定設置について</p> <p>①『幸運なんです。「うんにゃん」です。』ゆるいマスコットキャラク</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 健康増進とスポーツ推進について	<p>ター（ゆるキャラ）やイメージキャラクター（イメキャラ）などのコンテストの考えはあるのか。</p> <p>(1) 指導員及び委員の役割の明確化と役割について</p> <p>① 市が自治会から選出をいただいているスポーツ委員、健康福祉部の地域運動指導員、教育委員会のスポーツ推進委員の目的と役割はそれぞれ違いがあるが、縦割り行政の弊害が生じていないか伺う。</p> <p>② 健康増進やスポーツ推進は、市長のいわれる3つの課題の一つである健康長寿・生涯現役を全うできるまちづくりであり、地域自主組織の活動の3本の柱である、地域づくり、生涯学習、地域福祉のすべてに深く関わりがあると考えが見解を伺う。</p> <p>③ 今後の地域自主組織の活動、体制にどう位置付け、どのような仕組みづくりが必要なのか伺う。</p> <p>(2) 教育と定住促進について</p> <p>① 「夢」発見プログラムや教育支援・社会教育コーディネーター制度は先進的な取り組みであり、雲南市における「教育のブランド化」との認識でよいか。</p> <p>② それが子育て世代に理解され定住促進にどうつなげられているのか。</p> <p>③ 幼児期の運動促進に関する普及啓発事業として、幼児期における運動促進のプログラムが取り組まれるが、市内の幼児期の体力は他市に比べ低い状況なのか。</p> <p>④ 屋内、屋外の遊具施設の整備により遊び・運動の促進や家族のふれあいの場を提供することで、子育て世代への満足度も高まり、定住促進にもつながると考えるが見解を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 「たたらば壱番地」 オープンによる広域的な連携・協力について	<p>(1) 観光戦略について</p> <p>① 予想を大きく上回る入込客を一過性に終わらせることなく、持続的に更に拡大し、周辺観光施設へ「おもてなし」することが重要であると考えが見解を伺う。</p> <p>② 3月17日のイベントが開催されたように広域的な市町間の連携・協力により、定期的な(春・夏・秋・冬など)開催や持ち回り(雲南市・高野町など)開催など工夫を凝らしたイベントの開催により、交流人口の拡大と地域活性化を図り、そうしたことを契機に開催地の魅力など参加者やプレスリリース等を通じて内外にアピールすることができ、より知名度向上や地域経済の活性化につながると考えるが今後の取り組みについて伺う。</p> <p>③ 以前検討された定住自立圏構想の現在の状況を伺う。</p> <p>④ 3月の一般質問で「企業誘致について、裏日本の位置づけの山陰地方であるが、北東アジアを視野に入れ表日本(西日本の玄関口)にするためには行政の手腕が試される」と質問した。尾道松江自動車道の全線開通をにらみ、山陰への入込客(観光)に対し、そうした将来展望に立った広域連携・協力が必要であると考えるが現時点の取り組みについて伺う。</p> <p>⑤ 『出雲の国・斐伊川サミット』、『米子・松江市 中海圏域定住自立圏』、『だんだんサミット』の圏域や尾道松江自動車道沿線の関係市町との新たな圏域連携・協力も必要と考えるが、市長はそのキーパーソン役としてどのような行動展開をされるのか、またそれら以外の仕掛けづくりについて見解を伺う。</p>	
16	12	土江良治 (一括)	1. 旱魃(かんばつ)による耕作不能地発生に対する公的支援について	<p>(1) 少降雪、降雨はため池、湧き水だのみの水稻耕作者を直撃。農家の元気づけと耕作放棄地拡大防止の観点から次の4点を伺う。</p> <p>① 雲南市内で、水不足のため田植えを断念された農家数、その耕作面積総水田の何%か。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 市政施行10周年記念事業のイベントとしての市内無形文化芸能の勢ぞろい公演について</p> <p>3. トロッコ列車15周年特別企画、特別なイベント企画について</p> <p>4. 市が発注する公共工事入札に競争性の確保は図られているか。落札率について</p>	<p>②その内ではほぼ所有水田全てで耕作を断念した農家数、そのトータル面積。</p> <p>③不耕作により農家の気力はいかほどであろうか。行政としてなんらかの公的支援は考えられないか。</p> <p>④今後温暖化は確実に進む。このような農家のやりきれない状況を回避するためにはどのような手立てが考えられるか。実行可能なものを伺う。</p> <p>(1)雲南市内には神楽のほかに、正月などに行われる獅子舞、花田植え、地歌舞伎などがある。それら一同に集めた勢ぞろい公演は検討できないか。</p> <p>(1)初夏の風を一杯に受けながらビール片手にのんびりゴトゴト揺られるビール列車を企画することは出来ないか提案する。</p> <p>(1)大型事業がこれから一気に進展する。これらを前に出してこの1～2年間の平均落札率は。(建築、土木、上下水道ごとに)</p> <p>(2)他7市を比べて平均落札率はどうか。 指名業者の選定区域、一般競争入札の拡大などについて伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
17	9	周 藤 正 志 (一問一答)	1. 子育て環境の充実 に向けて  2. 行財政改革の推進 について  3. 地域の防災につい て	(1)親の経済的負担(保育料、医療費など)の軽減だけでなく子育てする環境の充実も必要である。  ①市内には子どもの遊び場(遊具のある公園)が少なく、市外の施設を利用している親子も多い。すぐ行ける連担地で遊園地をつくる考えはないか。  ②園児が増えたにもかかわらず、正規職員の配置が減った幼稚園もある。保護者が安心できる幼稚園・保育所の職員体制になっているか。  (1) 市有資産の活用について  ①市の遊休地の有効利用や処分が進んでいないがどうか。 ②遊休地や公共施設の屋根などを民間に貸して太陽光発電に供する考えはないか。  (2) 水道料金の値上げについて  ①1年間の猶予をおいて答申どおり値上げする方針が示された。市民への負担は、あらゆる経費削減を講じた最後の手段でなければならない。まず努力の成果を示すべきだ。  (1) 民間アパートが増えたが、自治会へはほとんど未加入で防犯・防災の面からも大きな課題だ。  ①民間アパートの自治会加入にどう取り組んでいるか。 ②災害などいざという時に民間アパートの住民に対し、誰がどう対応していくのか。  (2) 地域自主組織における自主防災組織の立ち上げ、運営について  ①行政はどのように関与・指導しているのか。 ②いざという時の連絡や連携はどう構築されているか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 高速開通後の観光・交流人口拡大の取り組み	<p>(3) 消防団の格納庫等施設のあり方について</p> <p>①大東で建設が予定されている研修棟の規模は必要かつ適正か。</p> <p>②合併して9年近くも経つのに未だ消防団施設の取り扱いが各町まちまちだ。統一し、平準化すべきだ。</p> <p>③施設を単に統合整理するのではなく、いかなる大災害にも対処していくためにはリスク分散の考えが大切ではないか。</p> <p>(1) 開通後の分析とそれを生かす方法について</p> <p>①高速が開通して2カ月が経過したが、市内への入込客の現状を具体的にどう把握・分析しているのか。</p> <p>②①を踏まえ、「また来たい」というリピーターにつなげなければならないが、「おもてなし」向上など具体的にどう生かしているのか。</p>	